# 京都府の自殺の現状

各数値の出典 ―

- 〇自殺者数
  - ・厚生労働省「自殺の統計:地域における自殺の基礎資料」
- 〇人口(自殺死亡率を求める際に使用)
  - ・全国・京都府:総務省統計局「人口推計 各年10月1日現在人口」 ただし、【京都府】の令和6年度の自殺死亡率は、令和5年(2024年)10月1日現在人口を使用。 また、【全国】の令和5年及び令和6年の自殺死亡率は、「令和6年中における自殺の状況」 (厚生労働省自殺対策推進室・警察庁生活安全局生活安全企画課)より引用。
  - ・市町村・圏域:「令和5年京都府統計書」2章2-6市町村別年齢5歳階級別人口

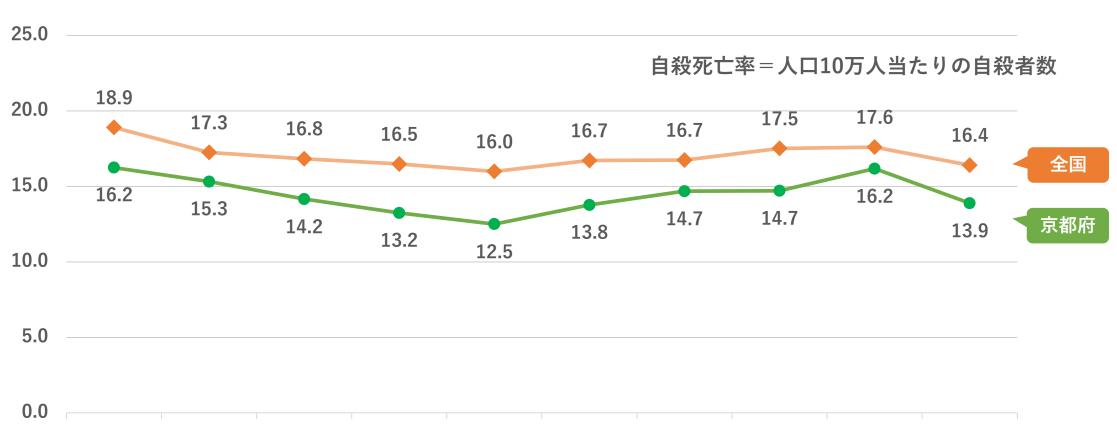
### 自殺者数(全国・府・過去10年)

全国・京都府の自殺者数は、令和元年までは減少傾向であったが、令和2年から増加傾向となり、令和6年は前年に比べ減少した。



### 自殺死亡率(全国・府・過去10年)

- ➤ 全国の令和6年の自殺死亡率は16.4
- ⇒ 京都府の自殺死亡率は全国を下回っており、令和6年は13.9(都道府県で3番目に低い)

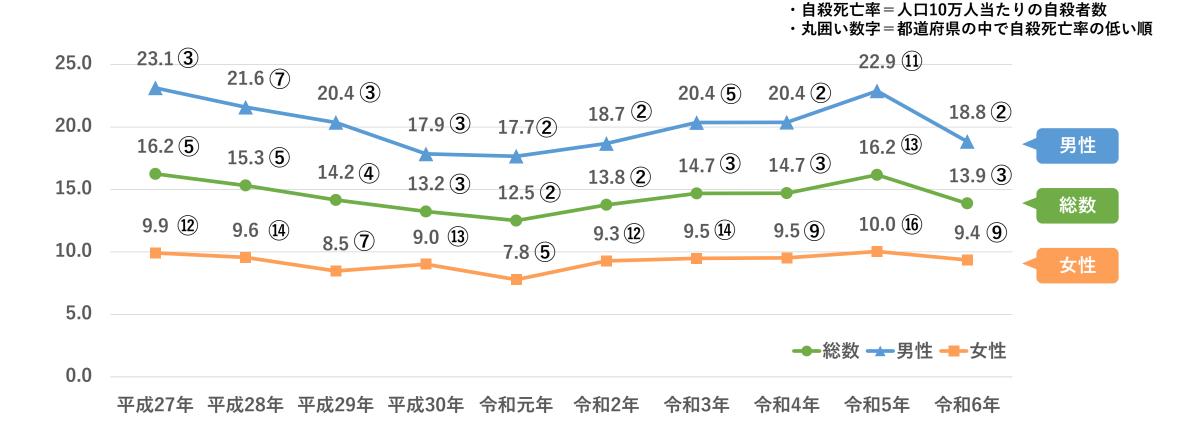


平成27年 平成28年 平成29年 平成30年 令和元年 令和2年 令和3年 令和4年 令和5年 令和6年

出典:自殺者数:「地域における自殺の基礎資料」(厚生労働省)、人口:「人口推計各年10月1日現在人口」(総務省統計局) ただし、令和5·6年の全国·京都府の自殺死亡率は「令和6年中における自殺の状況」(厚生労働省・警察庁)による。

### 男女別の自殺死亡率の推移(府・過去10年)

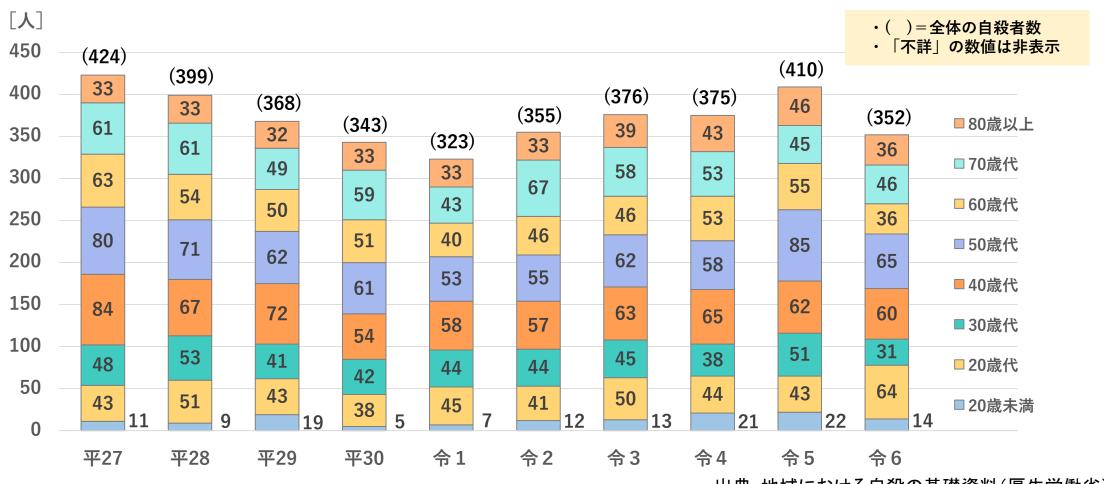
- 男性の自殺死亡率は、女性の約2倍。過去10年で23.1→18.8に減少(▲4.3)
- 女性の自殺死亡率は、過去10年で9.9→9.4と横ばい(▲0.5)



出典 :自殺者数:「地域における自殺の基礎資料」(厚生労働省).

### 年齡階級別自殺者数(府·過去10年)

- 過去から府内の自殺者数は40~50歳代が多く、令和6年も50歳代が最も多い。
- また、令和6年の自殺者数では、20歳代が前年から大幅に増加(43→64、約1.5倍)



### 年齢階級別自殺者の指数 (平成27年=100・府・過去10年)

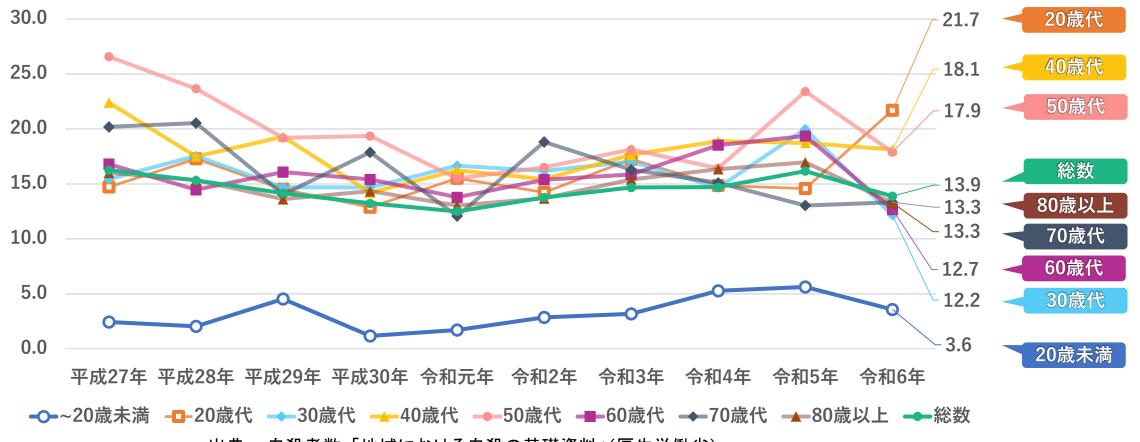
- ➤ 特に20歳未満や20歳代の自殺者数が増加傾向
- ➤ 80歳以上の自殺者数も減少していない。

	平27	平28	平29	平30	令1	令 2	令3	令 4	令 5	令 6
20歳未満	100.0	81.8	172.7	45.5	63.6	109.1	118.2	190.9	200.0	127.3
20歳代	100.0	118.6	100.0	88.4	104.7	95.3	116.3	102.3	100.0	148.8
30歳代	100.0	110.4	85.4	87.5	91.7	91.7	93.8	79.2	106.3	64.6
40歳代	100.0	79.8	85.7	64.3	69.0	67.9	75.0	77.4	73.8	71.4
50歳代	100.0	88.8	77.5	76.3	66.3	68.8	77.5	72.5	106.3	81.3
60歳代	100.0	85.7	79.4	81.0	63.5	73.0	73.0	84.	87.3	57. I
70歳代	100.0	100.0	80.3	96.7	70.5	109.8	95. I	86.9	73.8	75.4
80歳以上	100.0	100.0	97.0	100.0	100.0	100.0	118.2	130.3	139.4	109.1
全体	100.0	94.1	86.8	80.9	76.2	83.7	88.7	88.4	96.7	83.0

出典:自殺者数:「地域における自殺の基礎資料」(厚生労働省).

### 年代別の自殺死亡率の推移(府・過去10年)

- 令和6年の自殺死亡率は、特に20歳代が大きく上昇
- 40歳代、50歳代は依然として高い水準で推移



出典 :自殺者数:「地域における自殺の基礎資料」(厚生労働省).

### 【参考】20歳未満・20歳代の自殺死亡率

		1			
	┰	平	IZ.	17	
<b>5</b> T	₹.	4	D	М	ज
/J	-			<b>4</b> I	J

20歳未満

	平成2/年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和 5 年	令和6年
総数	2.4	2.1	4.5	1.2	1.7	2.9	3.2	5.3	5.6	3.6
男性	3.1	2.2	4.7	0.9	2.9	4.2	5.3	5.9	5.5	1.0
女性	1.8	1.9	4.4	1.4	0.5	1.5	1.0	4.6	5.8	6.3
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	<b>今和</b> 9年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		T-100.20 T	T110,23+		11/1H/UT	13 TH Z +	13/1H O T	13.1H T. T.	13 JH O T	13/HO-T
総数	14.7	17.3	14.5	12.9	15.5	14.2	17.2	14.9	14.6	21.7
総数男性										

20歳代

#### 全国

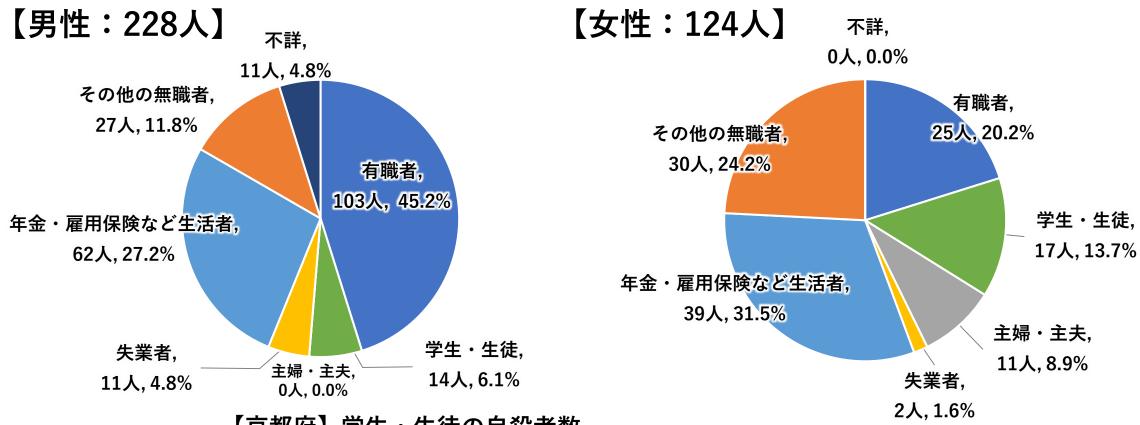
20歳未満

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和 4 年	令和5年	令和6年
総数	2.5	2.4	2.7	2.8	3.2	3.7	3.7	4.0	4.1	4.1
男性	3.4	3.2	3.7	3.4	4.2	4.4	4.1	4.5	4.3	3.7
女性	1.6	1.6	1.7	2.2	2.2	3.1	3.3	3.4	4.0	4.5
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
総数	平成27年 18.6	平成28年 17.8	平成29年 17.5	平成30年 17.1	令和元年 16.7	令和 2 年 19.8	令和3年 20.7	令和 4 年 19.6	令和 5 年 19.8	令和6年 19.4
総数男性										

20歳代

出典:自殺者数:「地域における自殺の基礎資料」(厚生労働省),

# 職業別自殺者数(府・令和6年・男女)

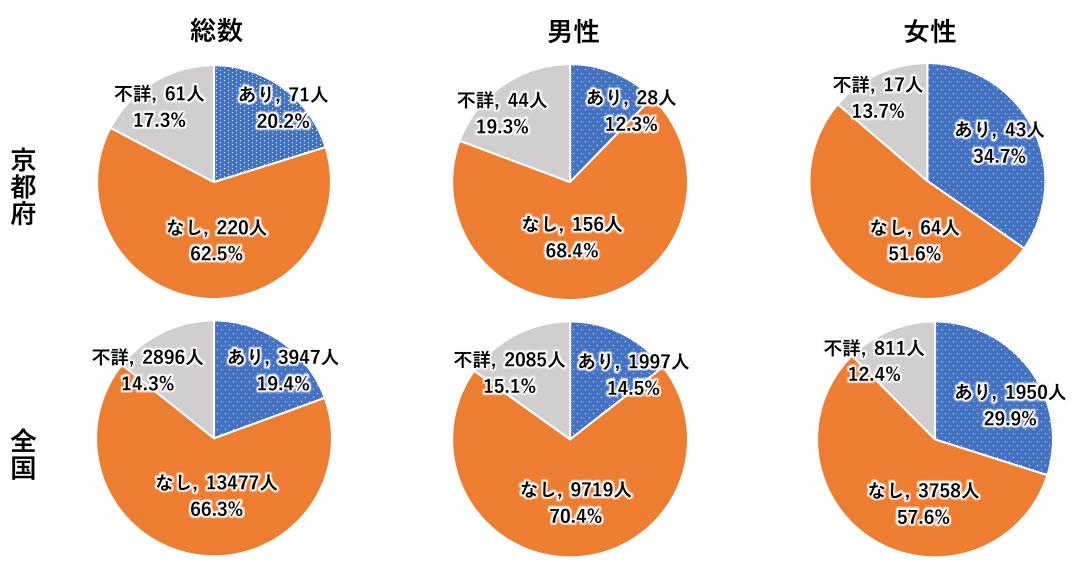


【京都府】学生・生徒の自殺者数

京都府	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
総数	23	18	23	31	27	31
男性	18	16	19	16	13	14
女性	5	2	4	15	14	17

出典: 地域における自殺の基礎資料 (厚生労働省)

### 自殺者の自殺未遂歴の有無(令和6年)



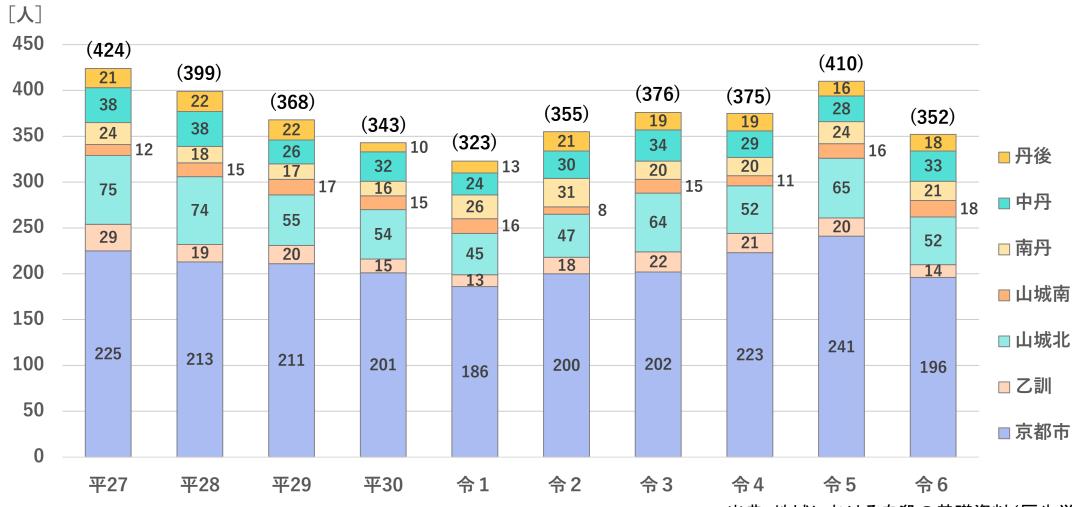
出典:地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)

# (府内の地域別の分類)

地域	市町村
京都市	京都市
乙訓	向日市、長岡京市、大山崎町
山城北	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町
山城南	木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村
南丹	亀岡市、南丹市、京丹波町
中 丹	福知山市、舞鶴市、綾部市
丹 後	宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

### 地域別の自殺者数(京都府・過去10年)

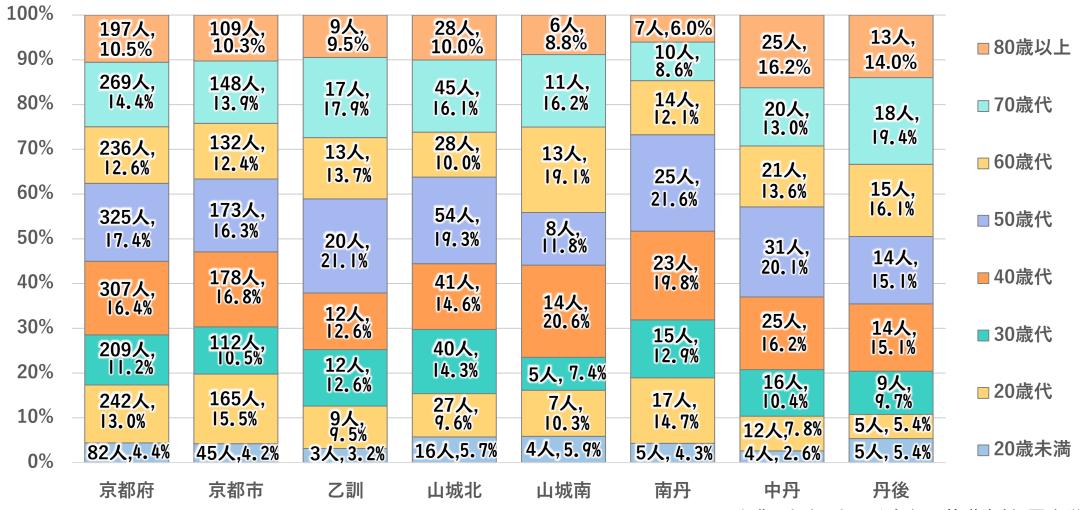
- 京都市内が最多(全体の6割近く)で、次いで山城北地域
- 令和6年の自殺者数は、府内全体は前年から減少したものの、丹後、中丹、山城南では増加



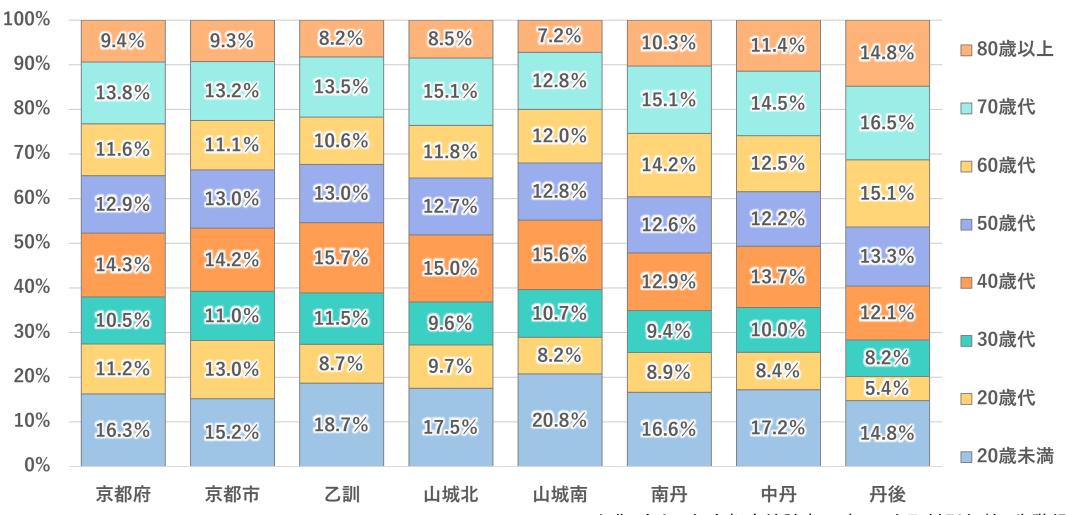
### 各地域における年齢階級別自殺者数・割合(過去5年計)

- > 京都市、山城北、山城南、南丹で、20歳未満及び20歳代の割合が高い傾向
- > 中丹、丹後で、70歳代及び80歳以上の割合が高い傾向

- ・縦軸は各地域における各年齢階級の割合
- ・グラフ内の数字は自殺者数
- ・「不詳」の数値は非表示



# (参考) 各地域における年齢階級別人口割合 (令和2年10月1日現在)



### 原因・動機の種類(令和4年から)

トラブル

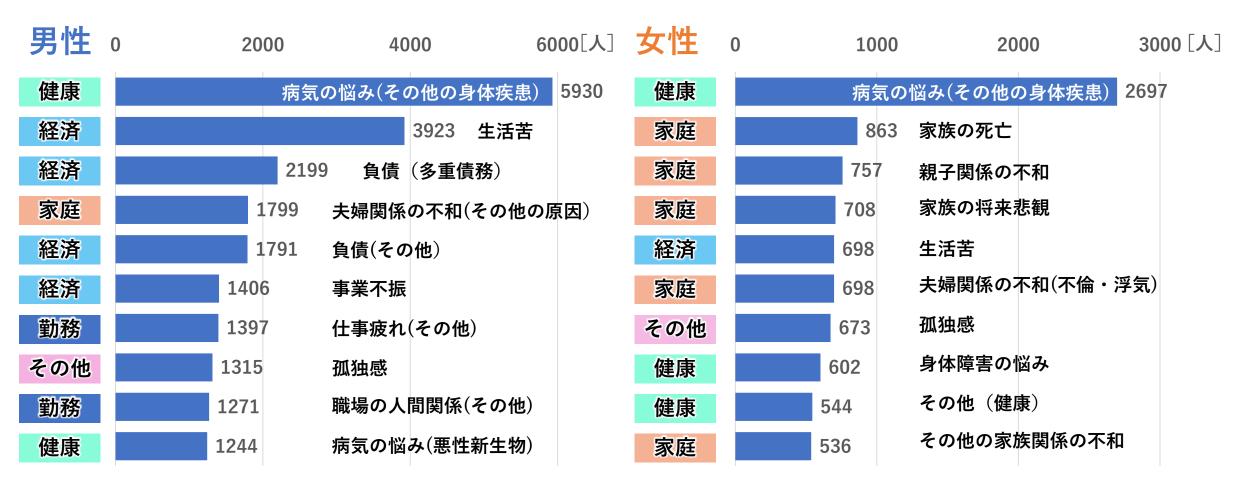
被差別

	177		<b>27</b> 3 1/X			12 11	• •	70 _							
								家庭問題							
家庭	夫婦関係の 不和(DV)	夫婦関係の 不和(不 倫・浮気)	夫婦関係の 不和(その 他の原因)	親子関係の 不和	その他の 家族関係の 不和	家族の死亡	家族の 将来悲観	介護・看病疲れ	子育ての 悩み	家族からの しつけ・ 叱責	家族・同居 人からの 身体的虐待	家族・同居 人からの 心理的虐待	家族・同居 人からの 性的虐待	家族・同居 人からの ネグレクト	その他
						健康	問題								
健康	病気の悩み (悪性 新生物)	病気の悩み (てんかん)	病気の悩み (その他の身 体疾患)		病気の 悩み・影響 (統合失調症)	病気の 悩み・影響 (アルコール 依存症)	病気の 悩み・影響 (薬物乱用)	病気の 悩み・影響 (摂食障害)	病気の 悩み・影響 (その他の精 神疾患)	身体障害の 悩み	認知機能 低下の悩み	その他			
						経済	・生活	問題							
経済	事業不振	失業	倒産	就職失敗	生活苦	負債 (多重債務)	負債 (連帯 保証債務)	負債 (ギャンブル 等)	負債 (その他)	借金の 取立て苦	奨学金の 返済苦	自殺による保険金支給	その他		
					-	 勤務	問題			2	-				
勤務	職場の 人間関係 (上司との トラブル)	職場の 人間関係 (その他)	職場環境 の変化 (役割・地位 の変化等)	職場環境の 変化 (その他)	仕事疲れ (長時間 労働)	仕事疲れ (その他)	解雇・雇い止め	取引先等とのトラブル	仕事の失敗	過重な ノルマ・ ノルマの 不達成	性別による 差別	その他			
			交際	問題							学校	問題			
交際	失恋	不倫・浮気	結婚に関す る悩み	交際相手か らの暴力 (DV)	ストーカー 行為等	その他	学校	学業不振	入試に 関する悩み	進路に 関する悩み (入試以外)	いじめ	学友との 不和 (いじめ以外)	教師との 人間関係	性別による 差別	その他
		•	•		その他	•					!			!	
その他	犯罪被害	犯罪発覚等	SNS・ インター ネット上の トラブル	性的少数者 であること の悩み・ 被差別	孤独感	近隣との 関係	後追い 自殺	(家族、同居 人、交際相 手以外)から の虐待・	その他	遺書		可言動を		る資料があ 得る場合	

暴力被害

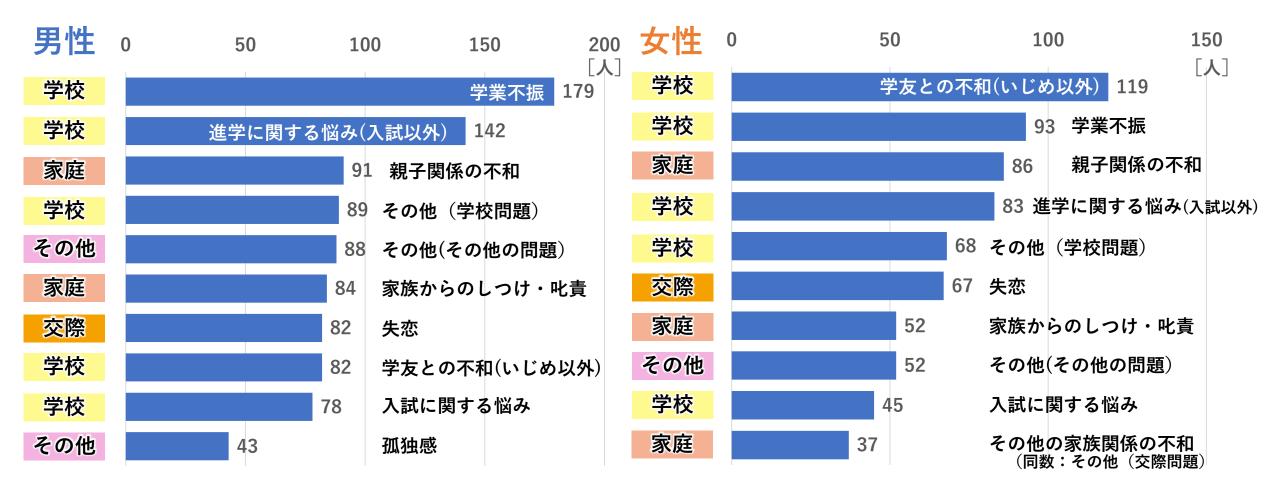
自殺者1人につき4つまで計上可能である。

## 原因・動機

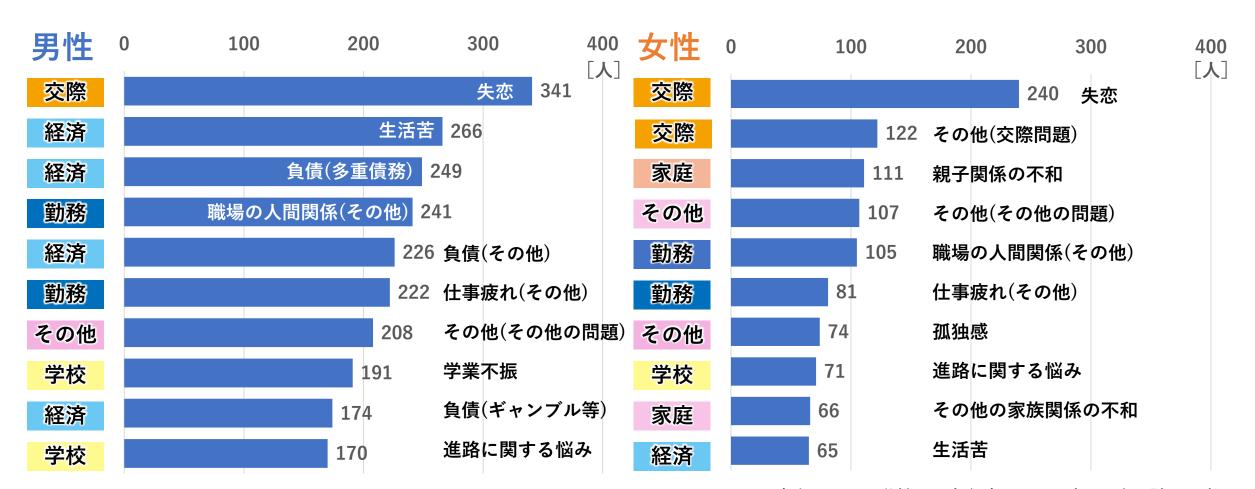


# 20歳未満の原因・動機

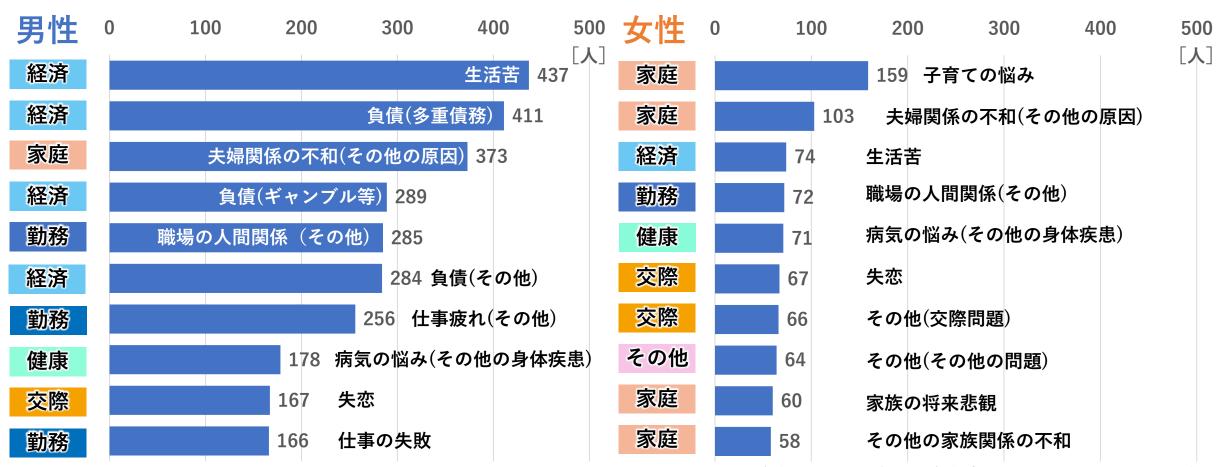
(全国・過去3年計・精神疾患を除く上位10要因)



自殺の原因・動機は、自殺者1人につき4つまで計上可能 出典:地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)



(全国・過去3年計・精神疾患を除く上位10要因)



自殺の原因・動機は、自殺者1人につき4つまで計上可能 出典:地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)

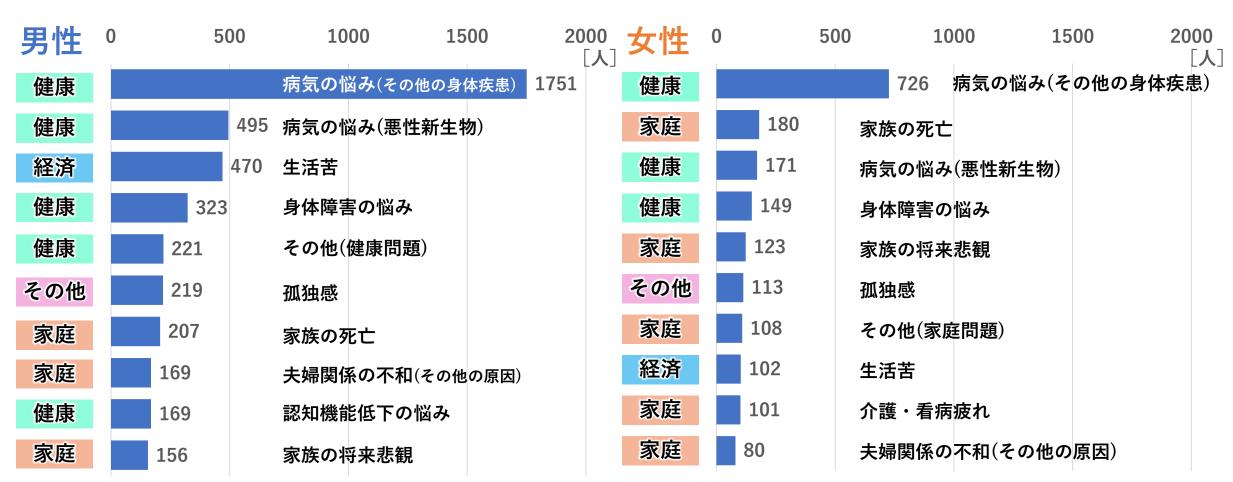
(全国・過去3年計・精神疾患を除く上位10要因)



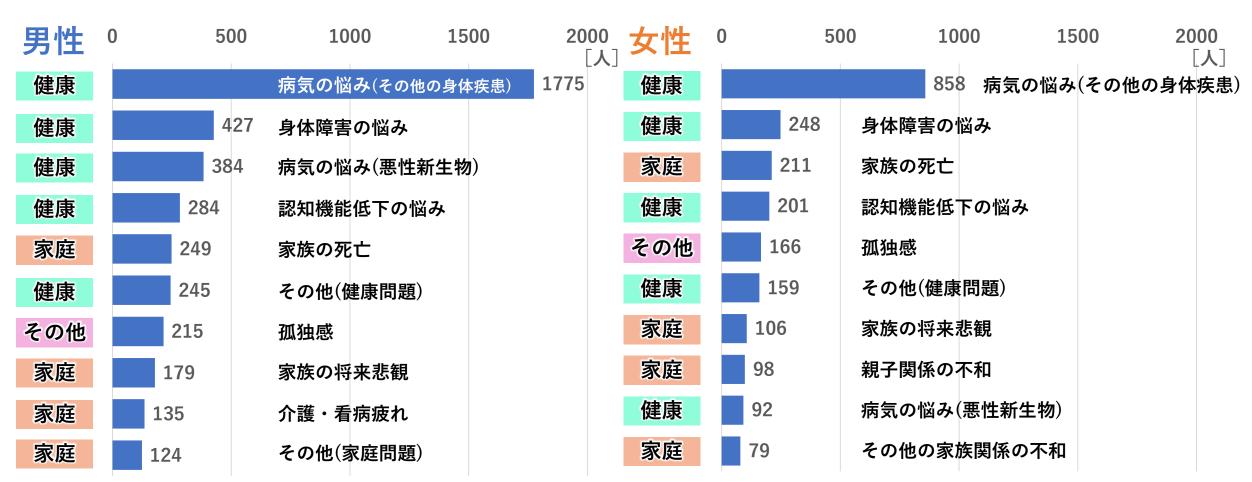
自殺の原因・動機は、自殺者1人につき4つまで計上可能 出典:地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)



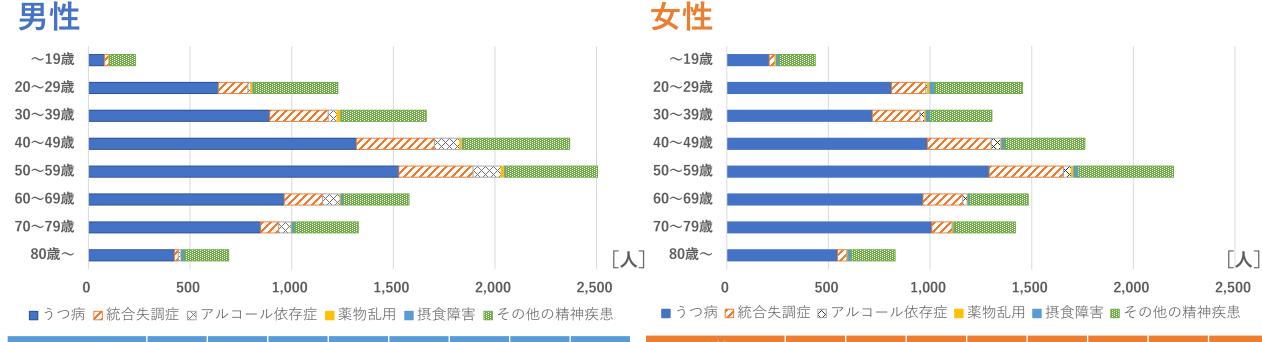




# 80歳以上の原因・動機



### 【健康】病気の悩み・影響(精神疾患に関する項目) (全国・過去3年計)



男性	~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~
うつ病	79	639	892	1,318	1,527	963	847	423
統合失調症	22	146	288	385	365	189	90	19
アルコール依存症	0	14	44	125	139	86	61	13
薬物乱用	3	11	18	13	17	5	3	3
摂食障害	1	5	5	6	6	10	13	15
その他の精神疾患	126	412	415	521	509	324	314	217

女性	~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~
うつ病	209	811	716	987	1,291	965	1,008	545
統合失調症	28	168	234	314	365	196	100	45
アルコール依存症	1	9	22	46	39	22	6	3
薬物乱用	6	12	9	5	12	3	4	3
摂食障害	12	22	18	16	19	9	2	14
その他の精神疾患	179	433	305	394	472	288	300	218

自殺の原因・動機は、自殺者1人につき4つまで計上可能 出典:地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)